

# 図書だより

## 10月号

図書委員会発行



<p>年 組 _____ のおすすめ本</p> <p>書名 <u>日本語と味わう名詩入門 6. 中原中也</u></p> <p>著者 <u>萩原昌好 編</u></p> <p>コメント 小さい頃、言葉、で自由で面白いなと思ったことが、中原中也の詩でした。「巾着の巾着」や「巾着の巾着」。何の表現だと思えますか？ヒントはこの詩の題名「サーカス」です。中也の表現力豊かな詩を解説付きで読める本なので、上記が何を示すのかをいかに読んでみて下さい。</p>	<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>獣の奏者エリン</u></p> <p>著者 <u>上橋 菜穂子</u></p> <p>コメント 学校の頃から読んでいる大好きな本です。主人公エリンと獣の王である「獣王」の成長を描いたお話です。特に「獣王」の生活は、とてもあがめるものがあり、多くの生物の中で人らしき人だと感じてくることが、とても素敵な物語！オススメです！</p>	<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>Colorful</u></p> <p>著者 <u>森 絵都</u></p> <p>コメント 初め中高生時代に読んだ本です。大抵おもしろいけれど、読んでしまった後がもう一度おもしろいために、前世の記憶を持つ、他人の人生をやり直りに生きる物語。面白いだけでなく、読むと様々なことに気づかせる。</p>	<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>橋のない川</u></p> <p>著者 <u>住井 すゑ</u></p> <p>コメント 「部落差別」と関わる人たちの姿を描いた物語です。主人公たちの悩みや苦しみと、壁を乗り越える強さ、自分の中にある差別感、... たくさんのことを考えさせてくれる本です。</p>
<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>スピリットバアにのいた島</u></p> <p>著者 <u>ベン・マイケルセン</u></p> <p>コメント 「手に持った木の枝の右端が幸せ、左端が怒り」とする。その左端を折って怒りを捨てる... (本名) (P10) 怒りに支配された自分を救い、和解する物語です。自身を認め、受け入れるとはどのようなことなのか、興味があればぜひ。</p>	<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>嫌われる勇気</u></p> <p>著者 <u>岸見 一郎 / 古賀 史健</u></p> <p>コメント この本を読んだことで、悩みの半分はなくなった感じがしました。「誰が悪いのか」と課題の分離がどうなるか、自分自身に起こる様々な問題を整理すると、どう生きるかが楽になります。「本当は誰が悪いんだろうね。」</p>	<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>この夏の星を見る</u></p> <p>著者 <u>辻村 深月</u></p> <p>コメント コロナ禍で様々なことが中止に、ついに制限され、一生に一度だけの青春を謳歌できなかった若者の思いが描かれています。17人々の言葉に共感できる作品です。是非読んで下さい。</p>	<p>先生 のおすすめ本</p> <p>書名 <u>行かずに死ぬるか! -世界9万5000km</u></p> <p>著者 <u>石田 水樹</u> <u>睡車 (山) 旅</u></p> <p>コメント 筆者が7年半をかけて自転車で世界一周した旅のエッセイです。世界で経験したできごとを楽しく読むことができます。まだまだ人の出会いや別れも読みどころ。読み終わったら旅に出たいなと思いました。</p>